

すすめよう！男女共同参画

問合せ先

役場企画課企画調整係
(内線212)

◆知っていますか？「LGBT」について

近年、「LGBT」に関する話題がニュースなどで取り上げられるようになりましたが、皆さんは「LGBT」について、どの程度ご存じですか。また「LGBT」に対する社会の理解度や認識がいまだに不十分で、偏見や差別などを受けて苦しんでいる人たちが多くいることをご存じですか。

LGBTとは

- ・ L (Lesbian) レズビアン
女性同性愛者。女性として女性を好きになる人
- ・ G (Gay) ゲイ
男性同性愛者。男性として男性を好きになる人
- ・ B (Bisexual) バイセクシャル
両性愛者。性別を問わず好きになる人
- ・ T (Transgender) トランスジェンダー
生まれたときに判断された性別と違う性別を生きる人
それぞれの頭文字をとった言葉で、セクシャルマイノリティ（性的少数派）の総称として使われています。

LGBTの人たちの中には、周りから理解が得られにくいことや尊重を欠いた心ない言動を受けることにより「自分はおかしい」、「みんなと同じでない」など孤独

感に陥り、心に傷を負ったまま誰にも相談できずに生活している人も少なくありません。うつ病やアルコール依存、また、自殺未遂につながるなどの調査報告もあります。

私たちは「性別」と聞くと、生物学的に判断された「身体の性（男性・女性）」をイメージしてしまいがちですが、人間の性のあり方は主に3つの要素の組み合わせからできていると考えられます。

- ①身体の性：生物学的な性（染色体、外性器、内性器の状態）
- ②心の性：性自認（自分の性別をどう認識しているか）
- ③好きになる性：性的指向（恋愛感情や性的欲求の対象がどのような人か）

これら3つの要素も強弱がありますので組み合わせは無数となり、人の数だけ性のあり方が存在します。全国7万人を対象に実施したLGBT調査では「13人に1人がLGBTに該当」と答えています（電通ダイバーシティ・ラボ「LGBT調査2015」より）。

一人ひとりが人種や性別、ライフスタイル、また、身体的特徴などの違いを認め、尊重し合う考え方が大きく求められています。